発行：中央区議会公明党　田中広一（東京都中央区新川2-31-7）

TANAKA KOICHI HOT NEWS

2022年 夏号

田中こういちホットニュース VOL.35

皆様こんにちは。日頃より、温かいご支援を賜りまして誠にありがとうございます。本年第1回区議会定例会などの議会活動を通じて、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ各分野にわたり全力で取り組んでまいりました。そこで、35号及び臨時号では2022年度の予算や一般質問などご報告させて頂きます。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

中央区議会議員　TANAKA KOICHI
田中こういち

本の森ちゅうおう

子どもから大人まで誰もが親しみをもって利用でき、歴史・文化を未来へ伝える地域の生涯学習拠点を目指し、京橋図書館と郷土資料館との複合施設を整備しています。

2022年12月4日 開設決定！

主な施設概要

- 住所：中央区新富1-13-14（労働スクエア東京跡地）
- 敷地面積：約4,000㎡　●延床面積：約8,600㎡
- 各フロア構成：
  - 6階　屋上庭園
  - 5階　ラウンジ、書架・閲覧エリア
  - 4階　視聴覚資料エリア、一般学習室、書架・閲覧エリア
  - 3階　グループ学習室、一般学習室、書架・閲覧エリア
  - 2階　児童エリア、地域資料室、郷土資料館企画展示室
  - 1階　総合受付、多目的ホール、郷土資料館常設展示室、カフェ
  - 地下1階　防災備蓄倉庫、地域防災倉庫
- 蔵書数：約342,000冊→約420,000冊に拡大
- 席数：166席→約450席に拡大

「本の森ちゅうおう」の施設概要→

2階 図書館中央ゾーン（右手に人工地盤上の森、奥に地域資料室、郷土資料館企画展示室）

1階 エントランスホール（1階中央に多目的ホール、奥に郷土資料館常設展示室）

本の森ちゅうおうの外観イメージ（～森のようなやすらぎの中で、人びとが出会い、交流する場～）

工事中の「本の森ちゅうおう」

区内全図書館の利用環境が充実（2022年4月からスタート）

	変更前	変更後
開館時間	月曜日～金曜日　午前9時～午後8時	➡ 午前9時～午後9時
	土曜日　午前9時～午後7時	➡ 午前9時～午後9時
	日曜・休日　午前9時～午後5時	➡ 変更なし

電子書籍の貸出サービス

読書機会の拡充を図るため、2022年9月1日より開始されます。

除菌機の設置

2021年に各区立図書館に設置し、多くの方々にご利用されています。

京橋図書館内の除菌機

2022年第1回区議会定例会 一般質問 2月28日（一部抜粋）

〈「本の森ちゅうおう」について〉

Q. オープニングイベントの開催などについては？

教育長　「本の森ちゅうおう」では、植栽豊かな広場のほか、芝生を敷き詰めた屋上庭園、カフェや多目的ホール、桜川公園が一望できるテラスや自然採光を感じられる閲覧席の整備など、誰もが心地よいと感じられる空間づくりを進めている。開設から2か月間をオープニング期間とし、館内ツアーや人生を変えた一冊をテーマとした著名人の講演会、上映会やトークリレーの開催など多くの方々に読書の魅力や中央区の歴史文化を知っていただける機会となるよう準備を進めている。

Q. 広報体制の強化と本を手に取りやすい工夫の検討は？

教育長　ホームページや区のおしらせに加え、図書館独自でSNSによる発信を行うとともに、タブレット端末を通じた児童・生徒への周知など取り組んでいく。サービスの充実については、フロアごとにわかりやすい配架構成や推薦図書の紹介に加え、懇切丁寧な対応を行うレファレンスカウンターを各フロアに設置するなど、誰もが利用しやすくわかりやすい図書館サービスに取り組む。

Q. 子どもたちの見学会も重要と考えるが見解は？

教育長　多層階にわたる森をイメージした特徴あるフロア構成の施設を案内するとともに、閉架書庫や文化財倉庫の探索、バックヤードでの作業体験など施設に親しみを持ちながら訪れた子どもたちが楽しく過ごし、本への興味につながる見学会を企画していく。

Q. 複合施設としての機能を活かした今後の取り組みは？

教育長　連携テーマに沿った事業を実施し、相乗効果を十分に図っていく。そのほか、郷土資料館の展示室では、区内外の美術館や博物館などとタイアップし、本の美術館や本の森博物館と称した貴重資料の展示企画などを行う。

お役立ち情報 Information

ちゅうおう安全・安心メールを配信しています！

中央区の防災・防犯情報をメールで速やかに配信するサービスです。

登録用QRコード

中央区防災マップアプリを配信しています！

災害時に避難所などの情報をお知らせする中央区公式のアプリです。

Android用QRコード　iOS用QRコード

区民相談は田中こういちまでご連絡ください。

田中こういちホームページ

Child-rearing support

子育て支援のさらなる充実

保育定員の拡大

2022年度は、クオリスキッズ月島保育園及びさくらさくみらい勝どき（10月予定）、さくらさくみらい新富町及びほっぺるランド相生橋つくだ、昭和こども園（2023年4月予定）の開設支援により、395名の定員拡大を予定しております。また、期間限定型保育や待機児童を対象とした居宅訪問型保育事業も実施されます。

多胎児を妊娠された方への祝品の増額

- 支援内容：タクシー利用券を2万円分贈呈（1万円分増額）
- 対象者：多胎児を妊娠しこれから出産を迎える方

【お問い合わせ先】
子育て支援課子育て支援係（03-3546-5350）

ベビーシッターによる一時預かり利用支援事業の拡大

東京都の事業を活用し助成されます。

- 対象者：突発的な事情等により一時的に保育を必要とする方、ベビーシッターとの共同保育を必要とする方
- 対象年齢：子どもが満6歳に達する年度の末日まで
- 利用上限時間：児童1人あたり月12時間（多胎児の場合は児童1人あたり月24時間）
- 利用日・時間：毎日　午前7時～午後10時まで
- 補助内容：1時間あたり2,500円を上限に補助

【お問い合わせ先】
子ども家庭支援センター事業係（03-3534-2103）

Coexistence with nature

自然との共生

環境学習事業の実施

「中央区の森」を活用した森林保全活動や動植物の観察などの自然体験を通し、新たに環境学習事業が実施されます。

- 場所：東京都西多摩郡檜原村
- 対象者：親子（区内在住の小学生とその保護者）、一般（小学校5年生以上の区内在住・在勤・在学者）

2022年第1回区議会定例会一般質問から

Q.環境学習事業の中で、蛍の見学を検討しては？
区長　蛍の鑑賞会も実施していく。

2008年5月「中央区の森」（檜原村）を視察

浜離宮恩賜庭園

水辺環境の活用の検討

自然や憩いの場の確保、緑とのネットワーク化など水辺環境のさらなる活用に向けた調査検討が行われます。

2022年第1回区議会定例会一般質問から

Q.干潟の再生や将来の構想については？
区長　水辺の環境学習にも寄与する干潟の再生など、生物の生息空間にも配慮した水辺環境の活用について調査・検討を行う。また、隅田川を中心とした水辺空間で創出される「水辺の緑」と、街路樹や緑道に加え「銀座・築地周辺緑のプロムナード構想」などにより、歴史や文化との調和にも配慮した「水とみどりのネットワーク構想」をとりまとめていく。

新型の緊急告知ラジオの運用がスタート

良好な受信環境を可能とし災害時の配信継続性も高くなりました。
（現行の緊急告知ラジオも引き続き活用できます。）

- 区民の方：1台2,000円（当面の間1世帯1台まで）
  ※現行ラジオと交換する場合は1,000円
- 区内事業者：1台21,450円
- 次回の頒布は7月以降を予定

【お問い合わせ先】危機管理課危機管理担当（03-3546-5087）

新型の緊急告知ラジオ

既に電線類が地中化された築地6丁目付近

電線共同溝の整備を推進

今年度は、共同溝整備工事と埋設物の移設が行われます。

- 場所：築地6丁目4番先～明石町12番先ほか

佃公園内にビオトープを整備

地域の方々からご要望をいただき推進してきました。

佃公園内のビオトープ

2022年第1回区議会定例会 一般質問 2月28日（一部抜粋）

〈新型コロナウイルス感染症対策について〉

Q. 第6波への対応や医療支援体制の強化については？
区長　本年1月に中央区自宅療養者サポートセンターを設置し、全庁を挙げた職員の応援体制を組んで対応。さらに、SMSを活用した事前入力システムを導入し自宅療養者への連絡の際の所要時間を短縮。今後は、高齢者向けの病床の更なる確保を東京都へ働きかけるとともに、オンライン診療や往診といった自宅療養者の医療ニーズに対応していく。

Q. おとしより相談センターなど区の相談体制の強化については？
区長　近年、「8050問題」や「ダブルケア」などが増えており、今後も、課題を一元的に受け止めることができる窓口の設置を検討する。

Q. 借換融資制度と今後の経済対策については？
区長　未だ厳しい経営状況にあるとの認識の下、借換資金制度を周知するとともに金融機関からも事業者に案内してもらうよう連携を徹底していく。今後も、支援策を積極的に展開していく。

〈18歳までの医療費助成制度の拡大について〉

Q. 18歳まで医療費助成制度を拡大すべきでは？
区長　東京都が2023年4月を目標に実施していくと発表。区としては、費用負担のあり方や所得制限の撤廃などについて東京都と協議・調整を行いながら対象年齢の拡大に向けて速やかに検討を進める。

2021年第4回区議会定例会 一般質問 11月22日（一部抜粋）

〈認知症予防施策について〉

Q. 認知症の健診事業や予防プログラムの導入を提案するが？
区長　聖路加国際病院との協議を行いながら本区にとってどのような認知症施策が効果的なのかを検討していく。

〈銀座・築地周辺みどりのプロムナード構想について〉

Q. 首都高速道路の上部空間の活用調査の状況は？
区長　本構想の実現に向け検討の熟度を高めていく。

築地川アメニティ整備構想

〈築地市場跡地など今後のまちづくりについて〉

Q. 中央区が東京都へ提出した築地まちづくりに関する要望についての見解は？
区長　都の実施方針等に適切に反映されていくと考えている。事業者決定後は、要望内容の実現に向けて働きかけていく。

Q. 築地市場跡地の仮囲いや敷地一部の有効活用を検討すべきでは？
区長　仮囲いの活用や工事を進める上で使用しない土地が生じた場合は、荷捌き機能や駐輪場の確保などによる地域課題の解決など考えられる。今後とも、地域活性化につながる検討を行い、都などの関係者に働きかけていく。

東京都は、「築地地区まちづくり事業」事業実施方針を策定（2022年3月30日）　コンセプト「水と緑に囲まれ、世界中から多様な人々を出迎え、交流により、新しい文化を創造・発信する拠点」